

質問内容	回答
<p>市立病院の内科医が不足しているというが、どうなっているのか。また、健康プラザの経営はどうなっているのか。</p>	<p>市立病院の内科医についてはほぼ元通りに戻った。個々の医師の個人的な事情が重なり、一時にたくさん退職したのは事実だが、新院長となり体制を刷新して、ともに関連大学(慶應義塾大学・杏林大学・聖マリアンナ医科大学)へお願いに行き、10月1日付けで3人、来年4月にも3~4人の医師が入ることになった。今後とも各大学と良い関係を維持しながら医師の派遣をお願いしていく。</p> <p>健康プラザの財源だが、これまで市で、多摩川衛生組合の清掃工場の関係でこの大丸周辺地区に還元するために貯金を積み上げてきていて、これで健康プラザを建築している。借金をしたり税金を使っているわけではない。運営については、税金での一部補填はあるが、なるべく独立採算に近づくように利用料金制度をとっている。</p>
<p>まず、雨が降ると、稲城長沼駅付近の地図(別紙)にある2カ所に水がたまり大変歩きにくい。また、稲城長沼駅の下り、立川方面ホームが高架になっているが、立川方面を進行方向に見て右側には壁など何もないので雨が降ると吹き込んでくる。さらに下りホームは改札から遠すぎる。そして南武線の工事はなぜこんなに長くかかるのか。</p>	<p>1点目の当該箇所はJR南武線連続立体交差事業における仮線用地の確保及び仮駅舎の営業に伴い、駅利用者の通路として確保しております。現在、連続立体交差事業の一環としてJRが管理等しておりますので、雨が降った際に水溜りができないような対策を早急に行うようJRに指示しております。本事業が早期に完成するよう、引続き東京都及びJR東日本と共に協力して事業を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>また雨の吹き込みに関しては、稲城長沼駅は完成すると矢野口駅のように両方に風除けの壁と屋根ができる予定なので、それまではご容赦願いたい。下りホームまでの通路の長さも、現在は完成するまでの仮の通路なので、ご不便をおかけするがこれもご容赦願いたい。工事は様々な事情で遅れているが、平成26年の春には終わるように要望しており、今後ともJRに早期完成に向けてお願いする。</p>
<p>健診センターまで行くのに、バスの停留所まで行くのが困難。歩ける人はいいが、そうでない人はなかなか市立病院のところまで行けない。また、おととい長沼の自治会のリサイクル回収のチラシが自宅共同ポストに入っていた。大丸なのになぜ配布されたのか。</p>	<p>バスについては、増便・ルート変更の要望などいろいろなお意見をふまえ、今年度から市内の公共交通に関する検討会を開いている。採算性のあるところは路線バスに対応してもらいたく、小田急・京王・神奈川中央・八幸といったサービス提供側の事業者と、市と、利用者の市民を公募し、検討会でどうあるべきかを検討している。南武線3駅が完成したら、仮であっても駅前バスロータリーを開設し、それにあわせてバスが3駅をまわれるように、今年度から来年度いっぱい検討会としての結論を出そうとしている。現在はバス会社にヒアリング中で、市民要望とあわせ協議し、とりまとめて整理していきたい。</p> <p>チラシについては、長沼自治会の配布物なので直接自治会に問い合わせさせていただくのが一番いいと思う。</p>
<p>市立病院の眼科も今いる医師2人がやめるそうだが、新たに入る予定はあるのか。</p>	<p>勤務医なので、それぞれの医師の都合や医局の人事もある。代替の医師については、確保できるように努める。</p>

<p>広報の全戸配布はいいが、広報いなぎのレイアウト自体はずっと変わっていない。市からのお知らせが多いのだろうが、内容がびっしりで見にくい。今後ますます項目が多くなるのではないかと思うので、見直していただけたらありがたいという要望。</p>	<p>事業が増えてお伝えすることも増えた中で、作る側も限られた紙面で工夫しなければいけない。少し前に紙面サイズを大きくし、文字も大きくリニューアルした。中身については、毎号担当で刷新しながら行っているが、いただいたご意見を今後の見直しの参考にさせていただきたい。</p>
<p>防災無線が何を言っているか聞き取れないといったクレームが多い。消防署は見直しますと言うが、一向にみえてこない。検討が長すぎるようだが、いつごろ結論が出るのか。</p>	<p>防災行政無線は放送を流すと「うるさい」とのご意見も多く、最近では公共空間に対する音声通報のあり方について慎重になってきている。ご意見をいただきながら、無線のラッパの向きを調整したり、女性の声の合成音声にするなどの工夫もしているが、将来的には防災行政無線をデジタル化しなければいけないと考えている。そして防災行政無線を補完する別のシステムとして、無線がデジタル化できたら、あわせ防災ラジオも取り入れていく。またメール配信システムもぜひご登録いただきたい。さらに今年度から、携帯電話3社（au、ソフトバンク、NTTドコモ）と契約し、エリアメールというシステムを行っている。対応端末をお持ちで稲城エリアにいれば、登録不要で、稲城市役所からの緊急情報をメールで受け取れる。災害時、各避難所には無線と災害時用の電話を配備する。災害時には様々な通信手段をたくさん持っていないといけないので、用意し対応したいと考えている。</p>